

Joy of Music

piano Etsko Tazaki

会場：東京文化会館小ホール

全席自由：一般 5,000円 学生 3,000円

Joy of Music 全3回シリーズ '21~'22

ピアノ
田崎悦子

第1回

Joy of Bach '21 **6/6** SUN 13:15 開場
14:00 開演

バッハ J.S. Bach

パルティータ 第1番 変ロ長調 Partita No.1 in B-Flat Major, BWV 825

パルティータ 第4番 ニ長調 Partita No.4 in D Major, BWV 828

パルティータ 第6番 ホ短調 Partita No.6 in E Minor, BWV 830

第2回

Joy of Brahms

'21 **11/14** SUN
14:00 開演

ブラームス Johannes Brahms

7つの幻想曲 Op.116 7 Fantasiën Op.116

3つの間奏曲 Op.117 3 Intermezzi Op.117

6つの小品 Op.118 6 Klavierstücke Op.118

4つの小品 Op.119 4 Klavierstücke Op.119

第3回

Joy of Schubert

'22 **6/未定**

シューベルト Franz Schubert

ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調 D.958 (遺作)
Piano Sonata No.19 in C Minor, D.958 Op.Posth

ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D.959 (遺作)
Piano Sonata No.20 in A Major, D.959 Op.Posth

ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D.960 (遺作)
Piano Sonata No.21 in B-Flat Major, D.960 Op.Posth

主催：Joy of Music

問合せ・マネジメント・チケット取扱い：カメラータ・トウキョウ
☎03-5790-5560 www.camerata.co.jp

その他チケット取扱い
東京文化会館チケットサービス
☎03-5685-0650 www.t-bunka.jp

イープラス
eplus.jp

ピアニスト田崎悦子の半生

20世紀の大指揮者ゲオルグ・ショルティに認められ、シカゴ交響楽団とバルトークのピアノ協奏曲No.2で衝撃的なデビューを飾ったのは今や伝説となった田崎悦子。

1960年代に高校卒の少女が1人日本から国際的土俵の中心地ニューヨークに飛びピアニストとして研鑽を積み重ねた30年という歳月。様々な葛藤の中で、常に自分の手で自身の道を開拓しながらヨーロッパ、アメリカ全土、日本でソロやオーケストラと共演。世界的指揮者のサヴァリッシュとスイスロマン交響楽団、スラットキンとセントルイス交響楽団、デブリストとロッテルダム交響楽団、小澤征爾と新日フィル他、世界の名だたる巨匠たちが名を連ねる。アメリカ建国200年記念音楽祭では若きアメリカのホープとして選ばれ、ケネディーセンターでリサイタル、その折にはアメリカ人作曲家ジョージ・ロックバークの「バルティータ・バリエーション」を世界初演する。

その他、ルツェルン、マルボロ、アスペン、サイトウ・キネン、草津等の国際フェスティバルでも活躍。日本ではNHK交響楽団を始め多くのオーケストラと共演。2006年から3年がかりでバッハから21世紀までのピアノ史を横断する前代未聞の企画「田崎悦子ピアノ全集」6回シリーズ、2015年には「3大作曲家の遺言」3回シリーズでベートーベン、ブラームス、シューベルトの最期の作品の演奏、そのゆるぎない音楽性とヴァイタリティーは音楽界の金字塔となり、NHK — BSプレミアムで複数回放送された。2018年は、19世紀の同世代、ショパン、シューマン、リストという愛と葛藤あふれる3人の作曲家に自身を重ね田崎悦子のみが語れる人生の光と影を紡いだ2回シリーズを行う。

大胆でドラマティック、同時に心を震えさせる繊細さを聴衆に訴え続ける田崎の音楽は年々深さを増し、一度聞くとその魂は奪われてしまうかのよう。

現在、ハケ岳山麓に居住。2002年ピアノ合宿“Joy of Music”を立ち上げ自然の中で若い世代に真の音楽のあり方を教示し、現在に至る。桐朋学園大学特任教授。

公式ウェブサイト

「ピアニスト田崎悦子の世界」

www.etsko.jp

DISCOGRAPHY

- バッハ : バルティータ第4番&第6番
- モーツァルト : ファンタジーK.475 in C Minor (レコード芸術特選盤)
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第20番&即興曲D.935
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第21番&即興曲D.899
- シューマン : 子供の情景&タヴィット同盟舞曲集
- フランク : 前奏曲、コラールとフーガ
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第19番&楽興の時
- リスト : ピアノ・ソナタ / シューマン: クライスレリアーナ
- バッハ : バルティータ第6番
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第17番 (コンサートライブ)

..... 以上、カメラータ・トウキョウより発売中

- ショパンファンタジア (レコード芸術特選盤)
- ドビュッシー&リスト (レコード芸術準特選盤)



- 「3大作曲家の遺言シリーズ」全4枚セット (レコード芸術特選盤)

- Vol.1 ブラームスOP.117、ベートーヴェンOP.109、シューベルトD.958
- Vol.2 ブラームスOP.118、ベートーヴェンOP.110、シューベルトD.959
- Vol.3 ブラームスOP.119、ベートーヴェンOP.111、シューベルトD.960

..... 以上、若林工房より発売中 www.waka-kb.com



マイフレンド・エツコ

志賀 佳子

小澤征爾音楽塾 サイトウ・キネン・オーケストラ マネージャー

私がニューヨークに留学して2年後、1960年、桐朋学園音楽科の後輩である田崎悦子ちゃんもフルブライトの奨学生として渡ってきました。私は船でNYに渡り、お下げ髪の悦ちゃんはプロペラ飛行機で、全くの新しい世界に飛び込んできたのです。その頃の日本はとても貧しく、親からの仕送りなど一切無一中、日々生活するのですら大変でした。悦ちゃんも私も、そんな中を必死に生き抜いてきた戦友同士と言えるでしょう。当時のNYは音楽の黄金時代で、ホロヴィッツ、ルービンシュタインはじめ、カザルス、バーンスタイン……名を挙げたらきりがなほどの世紀の名演奏家達のつぼでした。悦ちゃんは、目を見張るような好奇心とエネルギーを持ってその中に突入していき、すべての事柄に人一倍の努力を重ねていました。

彼女のその後の活躍に、私は折りに触れて接することができましたが、特に20世紀の大指揮者であるショルティに認められ、彼が指揮するシカゴ交響楽団と演奏する機会を得て、見事な演奏をした事は今でも語り伝えられています。私は幸運にもそのコンサートと打ち上げに出席しましたが、ショルティと共演するなどということは目の当たりにしても夢なのではないかと思ってしまうくらい考えられない出来事です。ピアノでは後にも先にも、日本人では悦ちゃんだけではないでしょうか？ 彼女の独特なキャラクターは人々を魅了し、たくさんの恋も失恋もして、私が相談役を務めたこともしばしばでしたが、それらすべてを音楽のエネルギーに変えてしまう特別な才能があったと思います。彼女は文章表現、ファッション、料理と、クリエイティブなことをとても楽しむ人です。また、あれほど失敗を恐れず、物事に正面からぶつかっていく人を私は知りません。その分深く傷を受ける彼女でしたが、七転び八起きというか、また勇敢に立ち上がる姿に、私はいつも驚きと感動の念を抱いていました。30年間NYで真の国際人として生きた後、日本の大自然の中に移り住み、今までに培ったものを表現する今回のシリーズは、彼女の生きた証に他ならないでしょう。日本に住みながら彼女は日本というしがらみを一切もたず、心の中に広い宇宙を持った人だと思っています。私も小澤征爾音楽塾で世界中の人々をつなぎ、若手を育てる仕事に携わっています。その小澤征爾さんや堤剛さん、そして悦ちゃん等を育てた創立時の桐朋学園……パッション溢れる先生方、父兄、そして我々生徒達がいた寺子屋もどきの青空学校……と同じような信念を持って後進の指導をしている彼女の活動、Joy of Musicにも心から声援を送りたいと思います。

★この大曲（リスト・ピアノソナタ）をあらゆる観点から見据え、そのゆるぎなき演奏は圧巻であった。

★パッションとパワー、美しい音色、人々の心に浸透する音楽……。

ニューヨーク・タイムズ

★これほど魂を揺さぶられる演奏はそうあるものではない。

現在も常に進化し続ける田崎さんという稀有のピアニストと同時代に生きていることを心の底から誇りに思う。

音楽評論家 真嶋雄大

ロンドン・テイラー・テレグラム